

# 主な出品資料

## 縄文時代

坂原遺跡 - 縄文時代の石棒・石剣製作遺跡 -

昭和42年（1967）に下久保ダム建設に伴い群馬県立博物館 学芸員 梅澤重昭氏（当時）によって発掘調査。縄文時代の祭祀道具である緑色片岩（三波石）を使用した石剣・石棒の製作遺跡。これまで見つかっている石剣製作遺跡は群馬県で坂原遺跡のみ。縄文時代後・晩期。



坂原遺跡 石棒・石剣未成品

## 古墳時代

十二天塚古墳

- 豊富な石製模造品

（合子形・杵形・刀子形・剣形・鏡形） -

藤岡市で採取される滑石・蛇紋岩などの軟らかい石材を使い、様々な器物をかたどって制作された祭祀の道具。特に合子形石製品（写真中央奥）は全国で約70例と出土数が極めて少なく、本資料は東国では唯一の出土例。5世紀前半。



十二天塚古墳 石製模造品

## 古墳時代

小林古墳群 - 人面付き普通円筒埴輪 -

古墳時代の藤岡市では藤岡粘土を使った埴輪生産が盛んに行われ、様々な埴輪が作られた。本例は小林古墳群1号古墳（6世紀後半）で発見された人面付き普通円筒埴輪。高い鼻と頭部の冠が特徴的。このような埴輪は全国でも10例程度しか見つからない。6世紀後半。



小林古墳群1号古墳 人面付き普通円筒埴輪

## 古代

牛田廃寺跡 - 最初の藤岡瓦を使った古代寺院 -

神流川左岸低地に造営された古代寺院。藤岡市で初めて発見された。発掘調査では屋根に葺かれた瓦が大量に見つかった。瓦は下日野・金井窯址群で焼かれた最も古い「藤岡瓦」。令和2年度に市指定史跡に登録。奈良時代（8世紀前半）創建。



牛田廃寺跡 複弁6弁軒丸瓦